

平成 26 年 2 月 3 日

宮城県気仙沼土木事務所長 殿

小泉海岸及び津谷川の災害復旧事業を学び合う会
会長 阿部 正一

中島（小泉）海岸及び津谷川の災害復旧事業について（要望）

東日本大震災に係る小泉地域の災害復旧事業の推進につきましては、日頃から格別なご配慮を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、中島海岸及び津谷川の災害復旧事業について以下のように要望します。本事業が、地域住民のみならず県民及び関係各位に十分に理解と納得が得られ、早期復旧が実現されるようにお願いします。

記

- 1 高さ 14.7m、幅 90 m の防潮堤の大きさが実感できる現地での表示の設置
- 2 人物の入った視点を変えた防潮堤のパース（縮尺は正確に）と 9 月と 11 月の説明会での議事録（すべての発言と回答）を地元の住民に分かりやすい用語の解説をつけて、旧本吉町地域に每户配付する。
 - ① 全体像を空から見た視点
 - ② 小泉小学校の駐車場からの視点
 - ③ 中島の水田（農業者）からの視点
 - ④ 沖合（サーファー）から見た視点
 - ⑤ 砂浜（観光客）から見上げた視点
 - ⑥ 津谷川（釣り人）から見た視点
- 3 地域住民に配付する資料には、高台移転と防潮堤の建設は直接関係のないことを、気仙沼土木事務所からはっきりと伝えてほしい。
- 4 復旧事業の現状と工期の予定について公開すること
- 5 セットバックした原形復旧（国道、三陸道が建設された場合）での、L1 津波に対するシミュレーションの提示。
- 6 第 4 回小泉海岸と津谷川の震災復旧事業を学び合う会（2 月 12 日開催）への担当者の参加と要望書への回答

以上について、2 月 12 日（火）までに文書にて回答していただくようお願いいたします。

連絡先

